



## 今年度の教育活動

校長 赤尾 眞司

5月、新緑の美しい季節になりました。木々の若葉が色を増してくるこの頃は、本校の周りが最も美しくなる季節です。校庭の葉の緑だけでなく、花々の色合いも子供たちの目を楽しませてくれます。

新学期が始まり1ヶ月が過ぎました。1年生から5年生は新しいクラスになり環境も変化しました。子供たちも新しい環境で頑張ってきたことで、疲れも出てくる時期になります。明日からの5日間の休みをゆっくりと過ごすと共に、学校での生活リズムを崩すことがないようにお願いします。

東京都は4月25日から5月11日まで、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が出されています。学校で行っている感染症予防の対策、検温、手洗い、マスクの着用、密を避けることはご家庭でも継続してください。併せて休み中の不要不急の外出もお控えください。また、この時期は交通事故が増えてきます。子供たちの交通安全には、十分に注意した行動をお願いします。特に自転車の乗り方には気を付けさせてください。

本校は5月から2月まで、第2土曜日を授業日としています。今月は8日が授業日になりますが、緊急事態宣言中のため、学校公開は行いません。登校時の避難訓練も中止といたします。今後の学校公開につきましては、改めてお知らせいたします。



学校は学びの場です。児童一人一人の学習に対する意欲を高めること、その上で学習に対する満足感を持たせ、知識を確実に身につけさせる、そのような場でありたいと考えています。

今年度から児童一人一人がタブレットを持ち、それを活用した学習活動も試行していきます。授業や家庭学習でタブレットをどのように活用できるのか、子供達たちと一緒に考えていきます。

4月の保護者会でもお話ししましたが、子供たちの健全な成長のために、今年度、次の4点を指導の重点として取り組んで参ります。

- 1 豊かな人間性を育てる
- 2 学力向上に向けた取組を推進する
- 3 体力の向上・健康の保持増進
- 4 地域と連携した、安全で信頼される学校

その中で、具体的な取組をいくつか紹介します。

- (1) 「心のやさしい子、友達を大切にする子、何事にもがんばれる子」に育てます。
  - ① 学校では、心の教育の中心に道徳科の授業があります。道徳科の目標にある「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」に取り組んでいます。また、様々な生活の場面で、児童の道徳性を高める指導に取り組んでいます。
  - ② 「進んであいさつをしよう」を年間重点目標として、あいさつ、返事、言葉遣い、時間やきまりを守る指導を進めます。学校での生活は、朝の気持ちのよい挨拶から始まります。相手の目を見てしっかりあいさつが出来る子に育ててほしいと願っています。
  - ③ 他者と触れ合う活動を実施することで、自己肯定感や思いやりの心を育てるようにしています。まだ制限がありますが、できる限りの活動を考え実践していきます。
- (2) 「わかる喜び、できる楽しさを実感できる授業」を推進しています。
  - ① 算数科では、今年度も1年生から少人数指導での授業を実施します。また、朝の時間を「学びタイム」として、朝読書や教科の習熟の時間として活用しています。
  - ② 学習習慣の定着に努めています。家庭で学習する習慣を身に付けさせるために、毎日宿題を出します。ご家庭でも、親子で読書をする時間をつくる等、学ぶことが楽しいと感じられる体験をさせてください。これからの子供たちの大きな成長につながります。
  - ③ 俳句づくり、読書、スピーチ、話し合い活動、音読、読み聞かせ等の指導を各教科で取り入れることで、思考力・表現力の育成につながります。
  - ④ 十分な授業時数の確保のために、水曜日の午前5時間授業を、5月12日から実施します。